



©山口県

【発行】やまぐち食の安心・安全推進協議会
(事務局)山口県環境生活部生活衛生課
753-8501 山口市滝町1-1
TEL: 083-933-2974/FAX: 083-933-3079
E-mail: a15300@pref.yamaguchi.lg.jp

これからの季節

ノロウイルス食中毒 にご注意!

毎年11月から2月にかけての冬場は、ノロウイルスによる食中毒が多発しています。ノロウイルスによる食中毒は、ノロウイルスが付着した手で調理し、そのノロウイルスが付着した食品を食べたりするなどして、ノロウイルスに感染することで起こります。

主な感染経路

ノロウイルスに汚染された食品を加熱不十分のまま食べる

ノロウイルスに感染・発症 ⇒おう吐・下痢



経口感染



感染者のふん便やおう吐物に直接接触する、感染者が排便後に十分手を洗わずに触れたものに触れる など



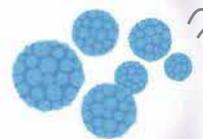
接触感染

感染者のおう吐物が床に飛散した際などに、周囲にいてノロウイルスの含まれた飛沫を吸い込む



飛沫感染

感染者のふん便やおう吐物が乾燥し、ほこりとともに空気中を漂い、それを吸い込む



空気感染

予防

ノロウイルスによる食中毒を防ぐポイントは、ノロウイルスを「持ち込まない」「つけない」「やっつける」「ひろげない」の4つです。

持ち込まない

- 調理場にノロウイルスを持ち込まないよう、丁寧な手洗いや日々の健康管理を心がける
- また、腹痛や下痢などの症状があるときは、**食品を直接取り扱う作業をしない**



つけない

- 食品や食器などにノロウイルスをつけないよう、**手洗い**をしっかりと行う
- 手洗いのタイミング
 - ・トイレの後
 - ・調理施設に入る前
 - ・料理の盛り付けの前
 - ・手袋を着用する前 など



やっつける

- 食品は、中心温度 **85℃~90℃** で **90秒以上** の加熱を行う
- また、調理器具は、洗剤等で十分に洗浄した後に、熱湯 (**85℃以上**) で **1分以上** 加熱するか、塩素消毒液 (**塩素濃度 200ppm**) に浸して消毒



ひろげない

- 二次汚染を防ぐため、感染者が使ったりおう吐物が付いたりしたものは**他のものと分けて**洗浄・消毒する
- また、おう吐物の処理の際は使い捨てマスクやガウン、手袋を着用するなどして二次感染を防ぐ



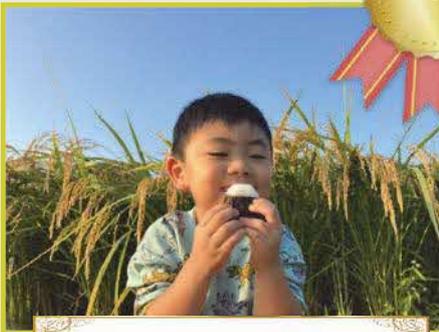
食に関するフォトコンテスト2024

～やまぐちの「食」教えちゃろ！～ 結果発表



令和6年7月1日～9月30日まで実施した『食に関するフォトコンテスト2024
～やまぐちの「食」教えちゃろ！～』について、169点の応募がありました
たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました！
厳正なる審査の結果、以下の12作品が入賞されましたので、ご紹介します

人物部門



収穫目前

最優秀賞



山口県産米「きぬむすめ」の
もち麦ご飯に卵をかけて



初めての稲刈り体験！！



大好きなとうもろこし

優秀賞

食品部門



かわいいトマト

最優秀賞



山口県産“にんにくネギタレたっぷり”
鯨のタタキ丼”



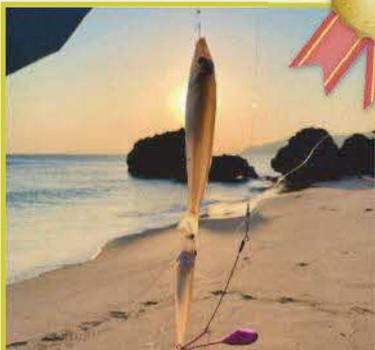
山口のごはんはおいしいね♪

優秀賞



大好きな夏野菜

その他部門



登る朝日とシロギス

最優秀賞



「むかつく」さんの、ハーブソーダ



山口県といえば、やっぱり
下関市にある唐戸市場！



米農家の皆様、ありがとうございます

優秀賞

「やまぐち食の安心・安全情報誌」
バックナンバーはこちら！



食の安心・安全に関する
情報を各種SNSで発信中です！



< X >

< Instagram >